

一 般 質 問 通 告 書

令和 8年 5月19日

議 会 議 長 様

議席番号 5 番

議員氏名 北 出 恵 造

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
1. 西小学校・高野台小学校の統廃合反対～発想転換、両校存続を	<p>西地区の児童数は、減少傾向とはいえ、両校を統合せざるを得ないほどの減少とはなっていない。</p> <p>令和8年度、西小学校は273人の11クラス。高野台小学校は191人8クラスであり、合計の児童数は大きくは減ってはいない。</p> <p>この統廃合により、一学級の児童数は増え、教員数は減ってしまう。これは、今求められている少人数学級に逆行し、子どもの教育にとってマイナスではないのか。</p> <p>文部科学省は学級定員の少人数化を進めており、今年度から小学校については全学年40人から35人となった。</p> <p>こうした中での統合校は児童数増で手狭になるのではないか。また、習熟度別授業などゆとりある授業はどうなるのか。</p> <p>さらに、今回の統合案は通学距離が500m（通学時間にして10分）も伸びてしまう児童が多数出る。西エリアの真ん中に学校敷地はあるのだから、わざわざ困難を強いる必要は無い。</p> <p>加えて、地理的な中心は西小学校の位置であり、地域コミュニティもここを中心に築かれてきている。</p> <p>5月8日、西小学校・高野台小学校を見学してきた。高野台小学校は築30年余で校舎・施設は快適で様々な工夫がされた構造で、明るく、廊下は広い。随所に様々なゆとりの空間もある。西小学校は築50年余で耐震化工事は完了しているが、改修が遅れていて老朽化が進んでいる。この結果、学校間の施設面でのひどい格差が出ているが、</p>	町長 副町長 教育長 教育総務課長 学校教育課長 建築課長 担当課長

5月19日 午前 9時11分 受理

質問事項	質問要旨	指定答弁者
	<p>傷んだ学校でも、子どもたちは遅しく成長して旅立っている。このような中で、先生や保護者（PTA）の努力に頭が下がる思いだ。</p> <p>そこで、以下伺う。</p> <p>(1) 令和10年度の統合による学年別児童数、学級数、及び教員数は。また、統合しない場合の学年別児童数、学級数、及び教員数は。</p> <p>(2) 高野台小学校に統合された時の改修箇所、改修予算の規模は。</p> <p>(3) 一旦統合が決まれば、50年は動かさないのではないか。</p> <p>(4) 西小学校の施設管理について、長寿命化と位置付けられているが、大規模改修の実態を経年で明らかに。</p> <p>(5) 令和3年11月・12月に開催された意見交換会の参加者数や主な意見は。</p> <p>また、令和2年11月に実施された保護者等へのWEBアンケートの中で、「望ましい学級数」「子どもたちにとって1学年あたりどの程度の学級数(クラス数)が望ましいと思われますか」などは誘導的なものではないか。</p> <p>(6) 令和4年4月に実施されたパブリックコメントの主な意見は。</p> <p>(7) 杉戸町として30人学級導入を県に対し要望しては。</p> <p>(8) 西小学校の改修・改築こそが急がれるが、検討は。</p> <p>(9) 5月16日に開催された「西小学校と高野台小学校の学校統合に向けた事業説明会」の参加者数と主な質問・意見は。</p>	

質問事項	質問要旨	指定答弁者
2. 住宅リフォーム助成制度の拡充を	<p>物価高騰で町民の生活が苦しい中、住宅の改修の必要性があるものの、なかなか手が出せない状況であり、建設産業も経営環境が厳しい状況が続いている。こうした両者を支援する制度だからこそ、令和7年度、住宅リフォーム支援制度は埼玉県内すべての市町村で実施されるようになった。</p> <p>日本共産党は住宅リフォーム助成制度を長年要望してきた結果、当町でも令和7年度に導入され、補助金額は、工事費の5%、補助上限額は10万円とされている。</p> <p>そこで、以下伺う。</p> <p>(1) 令和7年度の補助金交付実績は。</p> <p>(2) 近隣自治体における住宅リフォーム支援制度の内容は。</p> <p>(3) 当町における本制度の拡充の検討は。</p>	町長 副町長 建築課長 担当課長